

## 平成30年度 川西保幼小接続カリキュラム

### たちばな幼稚園・みどりが丘保育園 保育目標

ひとりひとりの身体的・社会的な調和のとれた  
成長を目指して

- 1 健康で生き生きした子ども
- 2 自分の要求をもった子ども
- 3 自分のことができる子ども
- 4 仲間を大切にできる子ども

### 5歳児 IV期(1～3月) 保育のねらい

- 友達と協力し、見通しや目的を持って取り組み最後までやり遂げ充実感を味わう。
- 生活に必要な基本的な生活習慣を身に付け、就学への期待をもつ。

### 川西小学校 学校教育目標

心身共に健やかで、豊かな心をもって、  
主体的に取り組む子を育てる

### 入学期における目指す児童像

かしこく…文字や数に興味をもち、楽しく学習できる。

やさしく…学校の生活に慣れ、友達と仲良くできる。

つよくたくましく…休まず、元気に登校できる。

### 幼児期に育てほしい子どもの姿（茨城県就学前教育・家庭教育推進ビジョンより）

- ① 健康な体で豊かに遊ぶ子ども
- ② 自分のことを自分で行おうとする子ども
- ③ 早寝・早起き・朝ご飯などの生活習慣を身に付け、あいさつできる子ども
- ④ 自然とのふれあいと命を大切にする子ども
- ⑤ 自分の家族とのつながりを大切にしながら他者を思いやるとともに、約束やルールを守ろうとする子ども
- ⑥ 生活や遊びを通じた物事（物の性質や数量、図形、文字、標識等）への関心・感覚を持つ子ども
- ⑦ 豊かな感性とそれを表現する言葉を持ち、自分の考えを伝えようとする子ども

# 1 育てたい子どもの姿と指導・支援（小学校・幼稚園との関連）

☆は行事と主な活動

○ 育てたい子どもの姿

・は指導・支援の手立て

	幼稚園	小学校
入学前の交流	<p>☆ <b>体験入学</b></p> <p>○ 小学校での体験入学を通して、小学校生活に興味をもち、入学への期待をもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体験入学で楽しかったことや気付いたことをみんなで話し合い、小学校への期待が膨らむようにする。</li> </ul>	<p>☆ <b>体験入学</b></p> <p><u>連携の視点での行事のねらい</u>：複数の学年の児童と触れあう中で、新1年生がスムーズに小学校生活をスタートできるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入学式で使う教室や体育館で活動する。</li> <li>・1, 2年生それぞれと幼稚園生のペアをつくり、名前を覚えさせ、入学式には名前呼び合えるようにしておく。</li> <li>・5年生と遊ぶ中で、登校班のメンバーと交流し、班長などの名前が分かるようにし、入学後の通学班での登校への不安を取り除く。</li> </ul>
		<p>☆ <b>入学式</b></p> <p>○ 体験入学での経験を生かし、これからの小学校生活に期待をもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体験入学の時に触れあった小学生と一緒に行動させるとで、安心感をもたせる。</li> <li>・受付後、教室の席まで、名前を覚えた新2年生に案内させる。</li> <li>・体験入学と一緒に活動した新3年生と手をつないで、式場に入場させる。</li> <li>・体験入学時に活動した体育館で入学式を行うことを知らせる。</li> </ul>

	5歳児（1月～3月）	小学校1年生（4～5月）
学 び に 向 か う 力	○ みんなの前で、名前や好きな物を言おうとする。 ・ 毎日の朝の活動で、出席の確認の際、「はい、私は（ぼくは）○○です」と、みんなの前で言えるようにする。	☆ <b>「一年生をむかえる会」</b> において、みんなの前で自分の名前と好きな物を丁寧な言葉で言う。 ・ 1年生をむかえる会の準備として、「私の名前は～です。好きな食べ物（色・乗り物・遊び等）は～です。」の話形を教える。
	○ 自分の思いを表現しようとする。 ☆ <b>発表会「おさなごのつどい」</b> や行事・朝の会で大きな声で自分の思いを言えるようにする。 ・ 当番活動の際、自分が体験したことを「○○をやりました」と、言えるように支援する。 ・ 友達の発表を聞いて、簡単な質問ができるように支援する。答えを聞いて、「はい、分かりました」を返せるように指導する。	○ 進んで発表したり大きな声で発表したりしようとする。 ・ 手を上げてから発表することを教える。 ・ 失敗を気にせず、最後まで話せたことを賞賛する。
	○ 時計を見て、行動しようとする。 ・ 片付けの時間など、黒板に貼った時計を使い知らせる。 ・ 短針、長針がどこを指しているか、意識させる。 ・ 片付けや食事の終了時刻など、時計を見るように促す。	○ 時刻や時間を意識して行動できる。 ・ 「長い針が3のところまで」など、時計を見て生活する習慣を付けさせる。 ・ ○時、○時半も意識的に使い、時計への興味をもたせる。
	○ 鉛筆の持ち方を意識して、絵や線をかいて遊ぶ。 ・ おけいこ帳を使って、様々な線や絵をかけるようにする。 ・ 平仮名や数字を書こうとする意欲を高める。	○ 正しい鉛筆の持ち方に気を付けて、線や平仮名がかける。 ・ 矯正具を使って、鉛筆の正しい持ち方を意識してかかせる。 ・ 教室に鉛筆の正しい持ち方の図を掲示する。 ・ 年度初めの懇談会や週の学習予定表で、鉛筆の正しい持ち方の図を掲載し、家庭での声かけをお願いする。

学  
び  
に  
向  
か  
う  
力

- 文字に興味をもち、平仮名や漢字を読もうとする。
  - ・フラッシュカードや絵本を通して、文字に興味を持てるようにする。

- 平仮名を正しく読んだり、書いたりできる。
  - ・練習帳を使い、形や筆順に気を付けて書くように指導する。
  - ・言葉のまとまりを意識させ、読んだり書いたりさせる。

- 物語や絵本などに親しみ、想像を豊かに膨らませながら、言葉で表現することを楽しむ。
  - ・場面などのイメージが湧かない園児には、ヒントになるような言葉かけをする。
  - ・言葉の面白さに気付くよう促す。
  - ・フラッシュカードや劇遊び等の台詞をみんなで声を合わせて読めるようにする。

- みんなと声を合わせて文字や文が読める。
  - ・カードや掲示物を使い、みんなで同じ方向を見て読ませる。
  - ・文字を指でなぞりながら文を読ませる。
  - ・音読カードを使って、家庭での音読を推奨する。

- 絵本や紙芝居の読み聞かせを楽しみにし、長い物語も聞こうとする。
  - ・毎日、帰りの会で紙芝居、本、月刊誌等を読んで聞かせる。
  - ・読み聞かせの感想を発表させるようにする。

- 読み聞かせを楽しんだり、学級の本を見たり読んだりできる。
  - ・始業前や国語の時間に紙芝居や絵本を使って読み聞かせをし、感想を発表させる。

- ○人、○個など数を用いたゲームを楽しむ。
  - ・ゲームに「○個持ってきて」「○人のグループをつくろう」など、意図的に数を入れる。
  - ・遊びの中で数を数えたり、数の大きさを知る場面を作る。

- 10までの数を用いて、個数を進んで数えることができる。
  - ・数えた物に印を付けながら、落ちないように数えるようにさせる。
  - ・**生活の中で具体物や絵を使って、物と数字を一致させるゲームを取り入れる。**（本時の授業とかかわる観点）
- 10までの数の大きさ比べができる。
  - ・比べる物同士を線をつなぎ、数の大小を比較させる。

- 園庭の草花や散歩する中で、自然物や生き物に興味を示す。
  - ・園庭だけでなく、土手などにも行き、自然に触れさ

- 春の植物や生き物に興味をもち、探したり、観察したりできる。
  - ・校庭で見つけた生き物や植物を観察し、気付いたことを絵で表現したり、話したりさせる。

	<p>せる。</p> <p>○ 運動やルールのある遊びを楽しもうとする。          ・ドッジボール等を通して、ボールに親しませる。          ・ルールを守って楽しめるようにする。          ・体育指導において、様々な運動の経験をさせる。</p>	<p>○ かけっこやボール投げを楽しくできる。          ・ゴールに大きな目印を置き、短い距離を最後までかけるように支援する。          ・カラーボールで投げる練習をさせ、ソフトボールも投げられるようにしていく。</p>
生活 上 の 自 立	<p>○ 活動が始まる前にトイレに行くことができる。          ・トイレの使い方(水を流す・手を洗う・スリッパを揃える・下着を入れる)をこまめに確認する。</p>	<p>○ 休み時間にトイレに行く習慣ができる。          ・休み時間ごとに、トイレに行くように促す。          ・授業中にトイレに行きたいときには、我慢せずに先生に言うことを繰り返し指導する。</p>
	<p>○ 困ったことや自分の思いを先生に話すことができる。          ・先生に話せたことを大いに褒めて、自信を付けさせる。</p>	<p>○ <b>困ったことがあったときには、自分で先生や友達に言うことができる。</b>          ・泣くだけでは、何に困っているか分かってもらえないことを教え、友達に言ってもらうのではなく、自分の言葉で事情を説明できるように指導する。  <b>(本時の授業と関わる観点)</b></p>
	<p>○ お手ふきタオルをたたんでカバンに入れることができる。衣服をたたんで、袋に入れようとする。          ・お手ふきタオルをたたむことから、たたみ方を学び、たたむことで自分の物がまとめやすくなることに気付かせる。</p>	<p>○ 自分で衣服をたたむことができる。          ・身体測定時に名札を上にして体操着をたたむと、持ち主が分かりやすいことに気付かせる。</p>
	<p>○ 左右を間違えず、かかとをつぶさないようにして靴を履こうとする。          ・随時、確認するように声かけをする。</p>	<p>○ かかたと揃えて、くつばこに靴を入れることができる。          ・昇降口で、自分のくつばこの場所を確かめさせると共に、靴はかかとを外の縁に合わせて入れることを指導する。          ○ 傘は、降口に入る前に水気を切って、細くして留めて、自分の場所に入れることができる。</p>

生活 上 の 自 立		<ul style="list-style-type: none"> <li>・雨の日に通学班の上級生や担任外の職員が傘の始末を教える。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ のりやはさみの使い方が分かる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・指で容器に入ったのりをのぼし、折り紙などを紙に貼るように促す。</li> <li>・はさみの使い方や使うときの約束を教える。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 連絡帳にのりでお便りを貼ることができる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・のりの使い方や貼り方を指導し、次第に短時間で貼ることができるようにする。</li> </ul> </li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 当番活動を通して、簡単な手伝いをする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・物に書いてある名前を読んだり、指示された物や指示された個数の物を友達に配るよう促す。</li> <li>・分からない物は、先生に聞きながら配ればよいことを知らせ、配ってくれたことに対して、感謝の気持ちを伝える。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分の列の友達に、配布物を手渡すことができる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「はいどうぞ」「ありがとう」と言って受け渡しをするよう指導する。</li> </ul> </li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分の持ち物をロッカーにしまうことができる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・登園後、カバンの中からタオル、歯ブラシとコップ、ご飯を出し、決められたところに置かせる。</li> <li>・日付を確認して、お便り帳にシールを貼り、かごに入れられるようにする。</li> <li>・降園時も同様に、名前を確かめながら友達の間違えないように、声かけをする。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ランドセルの中身を机の中に入れておくことができる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・しまい方を図で示し掲示する。毎朝、図を見ながらしまえるように黒板に掲示しておく。</li> </ul> </li> <li>○ 給食セットやコップを決められたところに掛けることができる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・月曜日にどこに掛けたらよいか確認しながらしまわせる。</li> </ul> </li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 当番の際は、簡単な配膳や片付けを先生と一緒にやろうとする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・食器を集めたり、残した物を集めたりする活動をやらせる。</li> </ul> </li> <li>○ 時間内に食べようとし、食べられないものは、先生に伝えられるように促す。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・苦手な物でも、一口は食べてみようとするように促す。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 給食の配膳・食事・片付けを時刻を意識してできる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・色分けされた給食時計を使って、それぞれの時間を意識させる。</li> <li>・嫌いな物でも、少しは食べられるように声かけをする。</li> </ul> </li> </ul>	

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の食べる量に配慮する。</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 忘れ物がないように登園できる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・登園前に、家の人と一緒に確かめようとする。(お便り帳)・タオル・お弁当・ハンカチ・ちり紙)</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 登校前に持ち物を点検することができる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「は・ち・つ・な・ぼ」を身振りを付けて言いながら点検できるように指導する。初めのうちは、自分で点検することを宿題にして意識付けを図る。</li> </ul> </li> </ul> <p>※はんかち・ちり紙・なふだ・つめ・ぼうし</p>
心の成長	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 恥ずかしがらずに、あいさつをしようとする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつをすると気持ちがよいことを伝え、先生や友達と一緒にあいさつができるようにする。</li> </ul> </li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 行事や外遊び、散歩等の活動の中で様々な人と交流し、関わりを深めようとする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・一緒に活動させることで、年下の友達の世話をしたり、手を貸すなどして、年長児としての自覚が持てるように促す。</li> <li>・いろいろな場面で、お互いの気持ちを受け入れられるように促す。</li> </ul> </li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 遊びや生活の中で、必要なルールを守ろうとする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・どうして、そのルールが大切なのか伝え、守れるように促す。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教室に入るとき、廊下や階段で先生やお客様に会ったとき、下校するときにあいさつができる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「おはようございます」「こんにちは」「ありがとうございます」をどんな場合に使ったらよいか示し、教室で練習させる。</li> </ul> </li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校探検をしながら、担任以外の先生と触れあい、学校にはいろいろな人がいることを知る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・担任と一緒に保健室、校長室、職員室に行き担任以外の先生と触れあう機会をつくる。</li> </ul> </li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 職員室や保健室に入るときに自分の名前や用件が言える。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「1年1組の～です。～先生に用があってきました。」などの話形を示し、自分たちだけでも行けるように指導する。</li> </ul> </li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校生活の決まりや遊ぶときの決まりを守ることができる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・休み時間に使ってもよい遊具はどれか、安全に遊ぶためにはどうしたらよいかについて、遊具のところで説明した後、決まりを守ってみんなで楽しく遊ばせる。</li> </ul> </li> <li>○ 決まりを守って遊具で楽しく遊べる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・使える遊具と遊び方について、一つ一つ一緒に遊びながら教える。</li> </ul> </li> </ul>

心の成長	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 友達の頑張っている姿を認め合い、自分も頑張ろうとする。</li> <li>・子ども一人一人が得意なことを発揮できる場を作り、よいところや活躍した場面を認め合い、友情を深められるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ <b>グループで協力して学習や作業ができる。</b></li> <li>・<b>グループの形態で絵を描いたり作業をしたりする機会を設け、グループで分担・協力するとよいことがあることを実感させる。</b> <b>(本時の授業と関わる観点)</b></li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 友達と一緒に日直や給食当番の仕事ができる。</li> <li>・みんなのために働く意味を教え、朝の会・帰りの会の司会の仕方や給食の配膳の仕方を、担任外の教師と共に教える。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学級の中で仕事を見付け、一人一役の仕事ができる。</li> <li>・一人一役の仕事を自分で見付けさせ、不都合な点を随時話し合い、係活動へとつなげていく。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 汚れに気付き、きれいにしようとする。</li> <li>・きれいにすることは、気持ちがよいことに気付かせる。</li> <li>・身の回りの整理整頓が物を大切にすることにつながることを教え、一つ一つを丁寧に片付けるよう促す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 縦割り班で清掃ができる。</li> <li>・上級生と一緒に、分担場所を確認させ、雑巾の使い方を中心に清掃の仕方を具体的に学ばせる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ できないことがあっても、励まされながら最後までやろうとする。</li> <li>・できたこと、やろうとしたことを賞賛し、次への意欲付けを図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 思うように行かなくても、くじけずに最後までやろうとする。</li> <li>・教師と一緒にやることで、安心感をもたせる。</li> <li>・友達の手助けを得て、あきらめずに活動させ、できたことを賞賛し、自信を持たせる。</li> </ul>	

**卒園式**